



小児疾患

脳性麻痺などの肢体不自由や精神遅滞など、精神運動発達障害を持つ子供たちは少なくありません。

生活習慣病

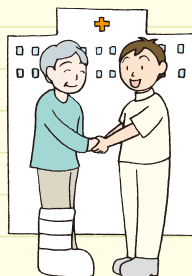
毎日の好ましくない生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気の総称です。近年では肥満により生じる状況をメタボリックシンドロームと呼び、予防が重要となります。



難病

リウマチ・パーキンソン病など、長期に医療を必要とする病気も少なくありません。

A. 理学療法士はこうした障害にご本人とご家族とともに立ち向かっていきます



神奈川県理学療法士会は、

理学療法士の資質と学術技能の向上に努めます。

理学療法の普及と健全な発展に努めます。

みなさまの保健・医療・福祉に役立ちます。

与える医療から支える医療へ



公益社団法人

 神奈川県理学療法士会

〒220-0003

横浜市西区楠町4番地12アールア20 101号

Tel.045-326-3225 / Fax.045-326-3226

<http://www.pt-kanagawa.or.jp>

理学療法士は

あなたの生活の サポーターです

あなたが
いきいきと
生活する
ために



公益社団法人
 神奈川県理学療法士会

Q. あなたのそばに、
こんな人はいませんか？

病気・ケガ・寝たきりなどによって 身体が不自由になった人々

事故

骨折・脊髄損傷・切断・頭部外傷
などのけがをした人



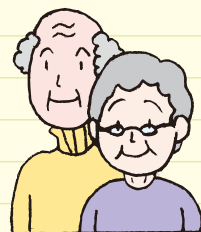
脳卒中

脳卒中(脳梗塞や脳出血など)で倒れると後遺症が残り、生活が困難となりリハビリが重要となります。



スポーツ傷害

学校・企業・地域・レジャーなど、人口・年齢層ともに広がる中で、スポーツ傷害が増加しています。



高齢者

腰や膝の痛み・認知症・骨粗しょう症・骨折などにより、医療・介護を必要とする方が増えています。

理学療法士とは

病気やケガにより、日常生活に支障をきたした方々に対して、起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本的な動作能力の回復をはかる、身体的なリハビリテーションに携わる職種です。

その内容は、手足の関節の動きを良くしたり、筋力を回復させたりする「運動療法」、温熱や電気などの物理的な刺激を用いて痛みの軽減などの治療を行う「物理療法」、実際の動作が円滑して行えるように練習する「日常生活活動練習」があります。さらに、車いす・杖などの福祉用具の選定や住宅改修・環境調整・在宅ケアも含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障害予防も理学療法の対象となっています。

また、運動機能回復とともに、患者さんの意欲を引き出し、精神的に支えることも、理学療法士の大切な役割といえます。

たとえば



事故で足首を骨折したとします。



まず折れた骨を修復し、
つなぎ合わせるのが医師の仕事。



次に足首の動きを
回復させるために
運動療法・物理療法を
駆使するのが
理学療法士の仕事です。

病院などの医療 分野だけでなく、
理学療法士はさまざまな場面で あなたの生活をサポートします。

(医療分野)

- 大学病院
- 総合病院、一般病院
- リハビリテーション病院
- 医院、クリニック

● 身体障害者養護施設 (保健・福祉分野)

- 老人福祉施設、老人保健施設
- デイケアセンター
- 訪問看護ステーション
- 地方自治体など

理学療法士の
活躍する フィールド

(スポーツ分野)

- トレーニングセンター
- スポーツ関連施設
- リハビリテーション施設

(教育・研究分野)

- 理学療法士養成校、大学
- スポーツ医学研究所
- リハビリテーションロボット研究所など